

# 令和2年度 太陽の家しいの実学園 自己評価結果(公表)

公表日 令和3年3月8日

社会福祉法人 光友会 太陽の家しいの実学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基準に対しては適切であるが、クラスの児童数や子どもの特性を捉えると活動には狭いため、遊戯室や園庭を使用したり、グループに分けるなど、工夫している。</li> <li>・肢体クラスでは、座位保持椅子が必要不可欠でスペースが必要だが、置いてしまうと狭く、導線が作れない状況もある。</li> <li>・構造化を実践していくには、個別スペースを作るためもう少し広さが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造化クラスは、パーティションやワークエリアなどを作ると狭くなってしまう。</li> <li>・収納スペースが少なく、廊下等も活用して置かざる得ない状況がある。</li> </ul>
	2	職員配置数は適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・市以上の人員配置基準の配置をし、丁寧な支援提供を心がけている。</li> <li>・年少児のクラスでは保護者対応を含め、もう少しゆとりあることが望ましい。</li> <li>・子どもの人数を考えると10人の児童に4人の職員配置が望ましい。</li> <li>・各クラスに常勤最低2人の配置しないと支援計画の策定を含め、活動のリーダーの負担が1人の常勤にかかり過ぎる。</li> <li>・人数が配置されていても、支援スキルが伴わないと適切とは言えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・市の配置基準以上に職員配置を行っているが、児童の状況や活動内容によっては補充配置が必要と考える。</li> </ul>
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、視覚情報やパーティションなどを活用し、児童の特性や発達段階に合わせた環境を整えている。</li> <li>・各クラスとも個々に合わせた環境整備及び情報伝達に努めている。</li> <li>・肢体児の雨天での送迎時は、屋根のある乗降場が必要である。</li> <li>・施設が古く、バリアフリー化等がなされていない部分もあり工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに分かり易ように視覚的な配慮等の構造化に努めているが、施設の老朽化が著しく、バリアフリー化等は十分ではない。</li> <li>・施設の再整備に向けて市との調整をしている。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化をしているが、清潔に保つため、日々の清掃と消毒に十分配慮している。</li> <li>・老朽化のため、壁の塗装の剥がれ、マットなど汚れが目立つ。</li> <li>・トイレの臭いが気になる。また、水の流れが弱く、汚物が流れにくいので改修が必要である。</li> <li>・各クラスの収納スペースが少ないため、活動スペースが手狭になっているが、工夫して使用している。</li> <li>・玩具類の消毒を定期的に行うなど、衛生面には配慮している。</li> <li>・定期的に大掃除の日を設けて掃除している。</li> <li>・リビングマスターが使用できなくなった松ホールに、エアコンを設置してもらい少し過ごしやすくなった。</li> <li>・雨が降ると雨漏りをする箇所があり、予報等察知して対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が既に45年を経過して老朽化しており、トイレなどの修理・改修が続いている。</li> <li>・日々の清掃や消毒には、十分配慮し、衛生管理にも心がけている。</li> <li>・施設再整備に向けて、利用者や保護者にアンケート調査を実施している。</li> <li>・今後も継続的に施設再整備の調整を市と積極的に進めていく予定。</li> </ul>
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容や日々の業務について検討、話し合いを行っている。</li> <li>・専門職の業務の見直し、確認を進めている。</li> <li>・職員が意識して取り組める職場作りに取り組んでいる。</li> </ul>	
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート等で保護者からの要望が多い事項については、検討・調整を経て、改善できる部分の改修に努めている。</li> <li>・評価表の実施の他、日常的に保護者からのご意見を受け入れられるよう、連絡帳の相談シートなども活用しながら把握を心がけている。</li> <li>・年2回、全体懇談会を開催し、保護者の意見・意向等を確認出来る場を作っている。(今年度はコロナ感染予防対策で書面にての開催になった。意見、意向については、他の方法で発信した。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修に関する保護者の要望については、市の改修予算の確保に向けて調整を行っている。</li> </ul>
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体懇談会等で評価結果を伝えている。</li> <li>・職員会議で話し合う機会を持ち、評価結果を踏まえて日々の療育に当たるよう確認を行った。</li> <li>・保護者評価、自己評価結果は、HPへの掲載、施設内掲示、その他の方法で公表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価結果を踏まえ、改善努力に努めている。</li> </ul>

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門家(スーパーバイザー)の助言内容を受けて、支援内容を修正・見直しする職員研修会を年2回行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年外部の療育の専門家に療育内容などの指導・助言を受ける研修機会を確保し、職員研修の位置付けで実施しているが、今年度は、コロナ感染予防のため、先方より見合わせの連絡があり、実施出来なかった。</li> </ul>
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修担当者として職員研修の充実に努めているが更なる充実が必要。</li> <li>定期的に研修があり学びになっている。外部研修にも参加したい。</li> <li>参考になる書物の購入をして、スキルアップに繋げたい。</li> <li>常勤、非常勤に関わらず、研修機会を提供しているのは良いと思う。</li> <li>接遇研修はとてもよかった。</li> <li>外部研修は、プライベートでも参加し、自己研鑽に努めている。</li> <li>階層別研修に取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修は、コロナの関係で参加が難しい年度であったが園内の研修を充実して取り組んだ。基本研修の必要性を感じている。</li> </ul>
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>セラピストも含め関係職員で定期的に検討の場を設け、必要な支援等確認して計画を作成している。</li> <li>適切な支援を提供するために、チームアプローチ強化が必要であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ケースについてケース検討会を開催して個別支援計画を作成している。担当レベルではなく、総合的な評価に努めている。</li> </ul>
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>インテーク時のアセスメントシート、日々の評価表を共通で使用している。</li> <li>担当が変わる時の引継ぎや、経験の年数に関係なく評価ができるようなツールを検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な支援の組み立て、評価ができるように、統一したアセスメントツールを検討、作成中。</li> </ul>
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援センターの、「発達支援」、「保護者支援」、「地域支援」を3つの柱として、重点項目と設定し、構造化支援、保護者教室、相談支援の充実に努めている。</li> <li>必要と思われる場合は家庭訪問を実施している。</li> <li>幼稚園、保育園等への移行支援では、移行がスムーズに進むようにアフターフォローに努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援のニーズが多く、職員を2名体制にして対応している。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の障害の特性、状態を把握し、個別支援計画を意識した支援に努めている。</li> <li>計画に記載している支援目標に対して、日々の評価を行っている。</li> <li>セラピスト同士で確認し合い、目標や発達段階に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスの行動記録様式は個別支援計画に沿った項目にしてあり、日々の療育の中で、支援計画が意識出来るようにしている。</li> </ul>
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>主にクラスのリーダーやが立案し、それを基にクラスで確認、修正している。</li> <li>狙いや目標を決めてプログラムを組んでいる。</li> <li>児発管、セラピストも含め話し合い加わることで、最善のアイデアが出ることも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日各クラス単位で打ち合わせを行うようにし、指導に努めている。</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動を提供するとともに、児童の特性上、同じ活動内容でも、その都度狙いを設定して取り組んでいる。</li> <li>他児に興味を持ち始める児童など、状況に応じて対応を工夫している。</li> <li>日々、子どもの状況や個々の特性に応じた取組を行っている。</li> <li>様々な人の意見をもらいながら、工夫して取り組んでいる。</li> <li>子どもの興味・関心を察知し、プログラムを作成・実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ活動を積み重ねて経験する事で、個々の取り組みの成長や変化も捉えて活動を考えている。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの特性や発達段階に合わせ、計画の作成を行っている。</li> <li>個別の課題と集団での課題を整理し、目標設定を定めている。</li> <li>子どもの状況に応じて他クラスとの交流を図っている。</li> </ul>	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>日案を基本として、クラス主任を中心に打ち合わせを行っている。</li> <li>スムーズに療育が進むように、療育前に意識して取り組んでいる。</li> <li>朝の打ち合わせをする時、当日入る非常勤職員にも子どもの様子を必ず伝えるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援開始前の朝の打ち合わせは、各クラスとも定着して行っている。</li> <li>打ち合わせがルーティンにならないように、その日の内容の明確化を周知している。</li> </ul>

18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返り、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>十分出来ない時もあるが、日々の振り返りを行うようにしている。</li> <li>記録などの事務作業をしながらの振り返りになっているので、時間の使い方を見直したいと考えている。</li> <li>職員の勤務時間が違うため工夫して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援終了後の振り返り等の大切さを認識しており、組織としてしっかりとした枠組みを構築していくように検討している。</li> </ul>
19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日活動記録を記入し、食事、排泄、言語、認知、行動等の評価項目ごとに評価・記入し、基礎資料として活動記録の活用に配慮している。</li> <li>要点をまとめて記入できるよう向上に取り組んでいる。</li> <li>支援目標に沿った記録を取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の記録の取り方、記入方法等の改善を図っている。</li> </ul>
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なモニタリングだけではなく、必要に応じて見直しを行っている。</li> <li>毎月の目標設定時にクラス担当者で話し合い、達成度の評価と療育内容の修正を行うようにしている。</li> <li>保護者の意向を確認しながら見直しを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児発管やクラス担当者だけではなく、PT、OT、ST、心理等の関係職員全員で、総合的な視点に基づいて個別支援計画を策定している。</li> </ul>
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が出席しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス主任や児童発達支援管理責任者が出席している。</li> </ul>	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>市の関係機関(障害福祉課、子ども家庭課、保育課、保険課など)や児童相談所等と連携を図りながら支援している。</li> <li>関連のある学校機関との連携も重視し、情報交換している。</li> </ul>	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児等コーディネーター事業も活用し、他機関との連携をしながら支援している。</li> <li>児童によっては、医療的ケアの確認のため保護者に同行して、主治医から直接確認している。</li> <li>セラピスト間で情報交換に努めている。</li> </ul>	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて児童の通院に担当職員が保護者に同行して、主治医から直接確認する等、医療機関との連携に努めている。</li> <li>医療ケアが濃厚な児童は、保育士対応の留意点を明確にしている。</li> <li>リスクを伴うケアについては、主治医に指示書を記入してもらうなど、医療的な要配慮事項を確認しながら、慎重に対応するようにしている。</li> </ul>	
25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて相互に訪問を行うなど、情報共有や支援内容の確認を行っている。</li> <li>併行通園をしている児童で、移行の可能性があると考えられる場合、通園先に向いて、先方の職員と意見交換、相互理解を図るようにしている。</li> </ul>	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>市の就学支援委員会に児童発達支援管理責任者が出席し、就学に向けて情報交換や検討を行っている。</li> <li>引継ぎ資料の提出や、必要に応じて学校への訪問、アフターフォローも実施している。</li> <li>支援学級、普通級との連携があまり出来ていない。改善していく。</li> </ul>	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はコロナ感染予防のため実施できなかったが、先進施設に職員を1日派遣し、支援状況を体験する交流研修を例年実施している。</li> <li>他施設との交換研修では、新たな発見やアイデアを得ている。</li> <li>様々な会議には積極的に参加して支援に役立つ情報の確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はコロナ感染予防のため、実施中止となった。次年度はどのような方法であれば進められるかを検討していく。</li> </ul>
28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はコロナ感染予防のため、受け入れ側からの意向もあり、中止となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度に向けて、方法等意見交換しながら、実施する方向の依頼をしている。</li> </ul>

29	自立支援協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別支援教育協議会」など市主催の連絡会議には、施設長が出席している。コロナのため、リモートでの会議参加も多かった。</li> <li>・コロナ感染予防のため中止となる会議が多かった。</li> </ul>	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通園時や呼び込み、電話等で保護者との情報交換、支援内容、方向性等の共有、確認を図っている。</li> <li>・個別リハビリは、保護者に同席しているので情報交換に努めている。</li> <li>・共通理解が難しい場合もある。</li> </ul>	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者等に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者支援の重要性を認識し、保護者教室の充実に努めている。しかし、今年度はコロナ感染予防のため、様々な内容を書面で配布する形を取った。</li> <li>・保護者教室を通して、障害特性等の理解の促進を図るなど、保護者支援に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が子どもの障害理解を深めることは非常に大切であり、コロナ対策を検討し開催に向けて、園として努力を続けていく。</li> </ul>
32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会や個々の契約時、内容変更時等に個別に詳細・丁寧に説明している。</li> </ul>	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者との個別面談の機会を設定し、支援内容、変更点、修正点、意向等を確認し、保護者から同意を得るようにしている。</li> </ul>	
34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースの状況によっては、適宜面談機会等を設定し、必要があれば、家庭訪問や視覚支援の助言等も行っている。</li> <li>・家での様子を聞き、親の困り感を踏まえて療育を行うよう意識している。</li> <li>・定期面談に加え、日々の相談シートで保護者の相談を受け付けている。</li> <li>・個別リハビリでは、狙いや目標を伝え、承諾をいただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談希望の有無に関わらず助言等が必要と思われた場合は、面談、電話、家庭訪問等により迅速に対応している。</li> </ul>
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染予防のため実施されていない部分もある。</li> <li>・保護者主体の保護者どうしの繋がりと連携について、可能な範囲で協力している。</li> <li>・クラス主任や児発管を中心に対応するようにしている。</li> <li>・以前は父母の会があったが現在は無い。</li> </ul>	
36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談シートを作成し、周知、共有することで相談体制の整備を図っている。</li> <li>・保護者が安心して子どもを預けられるように、関係性を築くように配慮している。</li> <li>・保護者から何らかの相談があった場合は、早目に面談機会を設定し、担任や児発管などで対応している。</li> <li>・相談内容によっては、園の相談支援専門員に繋げている。</li> </ul>	
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、園だよりを発行し、活動予定、保護者教室の開催、必要な伝達事項等を含め、その都度編集会議を開催して紙面の充実と情報伝達に努めている。</li> <li>・法人ホームページへの記事掲当で地域への配信も行っている。</li> </ul>	
38	個人情報の取り扱いに十分配慮しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについては、鍵付きの書庫や取扱への配慮等、慎重な対応に心掛けている。</li> <li>・机の上に放置すること等ないように周知徹底している。</li> <li>・連絡帳の入れ間違え等ないように、ダブルチェックしている。</li> <li>・個人情報の使用については、きちんと同意を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・USBメモリ等を廃止し、サーバーに切り替えている。</li> </ul>

非常時等の対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、保護者に伝わりやすい方法を選択して取り組んでいる。</li> <li>言語等の情報伝達が難しい児童については、視覚的な情報伝達（コミュニケーションカード等）を積極的に活用している。</li> </ul>	
	40	事業所の行事に地域の住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はコロナ感染予防のため、太陽の家まつり等事業所の行事には、地域住民を招くことが出来なかった。例年は、地域の方も多数参加で実施している。</li> <li>畑をお借りして芋ほりの体験をさせてもらうなど、地域に積極的に出たり関わるようにしている。</li> </ul>	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練は、毎月実施しているが、現行の防災マニュアルは不十分なので見直しが必要であり、継続的に見直し作業を進めている。</li> <li>感染症マニュアルを再確認、再周知し、年1回感染症研修会を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な非常災害を想定したマニュアルの作成、見直し、整備を進めている。</li> <li>保護者にも周知できるように検討している。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>園全体で月1回避難訓練を実施し、各クラス内で反省等もやっている。</li> <li>年1回総合防災訓練を実施し、近隣消防署の協力を得て、起震車による地震体験、煙テントによる煙体験訓練、模擬消火器による模擬消化訓練を行っている。例年は保護者も参加を呼びかけていたが今年度はコロナ感染予防のため参加はなしとした。</li> <li>訓練日程を知らせない訓練も行い、課題を見つけることが出来ている。</li> <li>避難が難しいクラスもあるので、情報把握に努めて連携が取れるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の結果や様子について、保護者にも情報発信をしていく。</li> </ul>
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園時及び個人面談の際に情報の聞き取り、確認をしている。</li> <li>必要に応じて、対応マニュアルを作成し、周知している。</li> <li>看護師にも情報伝達に努め、体調把握に努めている。</li> <li>保護者からの聞き取りや児童の状況が記載された資料を確認するなどして、服薬内容、てんかん発作、医療的な必要配慮事項等の確認・把握を行っている。</li> </ul>	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の指示書に基づき、看護師、栄養士、児発管、担当でカンファレンスを行い、対応の確認をしている。</li> <li>給食の誤提供が無いように、厨房や栄養士、食事介助の保育士と連携し提供方法の確認作業を決めて対応している。給食のプレートやトレーの色を変えるなど、他児と視覚的に区別できる工夫をしている。</li> <li>配食の際には必ずダブルチェックを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケースによっては、医師の指示書だけではなく、直接医師に確認している。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のヒヤリハットを集計・整理して、全職員周知している。</li> <li>ヒヤリハットの傾向や重大事故に繋がる事例等、リスクに対する認識を深められるように、終礼等で全職員に周知するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に周知し、リスクを回避する取り組みを継続的に行っている。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部の講師（市虐待担当、県中央児相職員）を招聘して、虐待防止研修を企画し、虐待に対する職員の認識を高めるとともに、虐待の早期発見と早期対応に関するポイント等の研修機会を行っている。</li> <li>家庭虐待の心配があるケースでは、児童相談所と連携を密にして情報交換に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師の依頼は出来たが、コロナ感染予防のため方法を工夫して行う。</li> </ul>
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもの保護者に事前に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症心身障害児など肢体不自由児童については、座位保持のため胸ベルトを使用しているが、嘱託医の整形外科医の指示に基づいて行っている。</li> <li>この点については、個別支援計画に必ず記載するようにしている。</li> <li>医師の指示がある場合でも、必ず保護者の同意を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束に当たる行為は一切行っていない。座位保持ベルトを使う場合は整形外科医の指示を受け、保護者の同意を得て対応している。</li> </ul>	